

九月二十日夕刊



定価 一部五銭 五部一圓
 廣告料 五銭 十二字 一行 五銭 廿五銭
 日誌 各日 五銭 日誌 休刊
 本報 常警新報 日誌 休刊
 本報 常警新報 日誌 休刊
 本報 常警新報 日誌 休刊

速かに信仰に入れ

眞繼雲山

地獄とは苦惱の世界である、餓鬼とは欲求の世界である、畜生とは本能の世界である、修羅とは闘争の世界である、人間とは五戒を持つ世界である。天人とは歡樂の世界である。聲聞とは教を受けて悟る境界、縁覺とは縁による獨覺の境界菩薩とは自行化他、犠牲奉仕の境界、佛とは覺行圓滿の位。これを十界といふたとへ人面といふといへども餓鬼畜生として生きる上に佛縁は遠く、信仰とは人間として完成すべき向上の一路である。

高野の湯にて

耕影

炭坑町秋日に光る黒ダイヤ
 高野湯や拮据菘菘芒
 粒々と八束穂稔る豊の秋
 湯の嶽の山懐ろや湧く古湯
 萩に來て寛き浸る古湯哉
 湯の宿や獨り寂しき夜半の月
 夢枕外れて湯の窓叩く虫
 會遊の昔を語る秋夕べ
 浴して眺むる秋の高野不二
 秋雨や湯の池魚躍り小波す
 馬肥り湯女又肥えて秋高し
 此里の見るもの哀れ秋の聲

士が大将となる道は兵士は兵士のまゝ車掌は車掌のまゝ即日即時、その身のまゝ佛果に登るの門を開く。たとへ顯官富豪なればとて、無信のものを佛子とは申さず、如何ほど下賤貧窮なればとて佛心を得ば佛子である。石冷かなれども打てば必ず火あり、有情非情ことごとく佛性を具す一念に菩提に住せば現身そのまゝ永生の至樂に入るのである。小乗家は三祇百劫成佛と説けども、大乘には煩透是佛の道ありと示す。老少不定、墳塋多くは年少の人、まて來いよではない、そのまゝの即身是佛、入定の教へである、明日を待つといふこと勿れ老いたるも嘆くか——轉語

して曰ふ「今からでも決して遅うはない」無心の人は速かに信仰に入れ。

佛前讀經の功德

佛前のお經には、和讃のやうに平明を主とするものとさうした説明の言説を離れて直に宗教の眞韻に觸れやうと進むものがあります。人間の念想とは自我を中心として、はたらくものであります。その自我の念想を伴ふかぎり悟りも安心も得られるものではありません。金が出來て健康なのがなくなり死ぬるときには佛縁と絶交して憤死するの外ありませぬ。そんな信仰が「いふ」といふ時の役に立つ筈はなく、生にも死にも逆境にも何時でも喜び得るものがだけが眞の力となるので、それには自我をはなれて佛縁と一つになるの外はありません。他力といふも無我といふも同義です。黙してそこに到らうとするものに坐禪があり、念佛は直に彌陀のふどころに入るもの。陀羅尼の讀誦は佛の誓ひを現身に体得するもので讀經によつて講釋を聞き佛意を領解しやうといふ行き方ではないのです。

外科

門 專 科 線 光 X
 上田外科醫院
 平町南町
 電話一二九番

喜多流 諸曲と仕舞の

稽古をお奨め致します

喜多流 諸曲 仕舞 白土會
 平町田町六九
 入會隨時 電話一二七番

高久病院

院長 醫學士 高久忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽清
 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
 平町田町 電話五二三番
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

電話至急譲り受度し

若し都合に依つては借受けも差仕へありません

姓名在社

安齊外科醫院

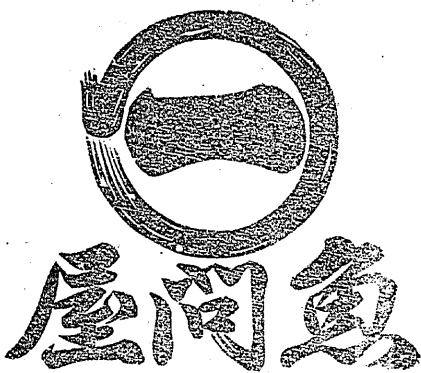
平町・田町 電話四七五番

貝焼

美味 鰹鹽から

当店特製

鰹節



榮盛賀志 番三一二話電 目丁四平

Refinetex
 リファインテックス

秋冬の洋服地は
 新柄揃ひの
 リファインテックスで



大崎屋洋服店

平銀座通 電96

かまぼこ
 不味實
 平町一丁目
 電話一四一番

警中對平商

觀衆の聲援裡に

白熱戰を展開

警中の健棒愈よびえて

平商遂に奮死

昨二十五日明、絶好のコンディションに恵まれた本社主催第三回平商中等學校教員野球大會は平商高等臺上警中球場に於て厳肅な選手入場式に次いで主催者川崎社長挨拶あり、昨年度優勝者警中チーム豊口主將の優勝旗返還後直にトナメントに依る抽籤で左記の如く組合せ決定



同正四時齋藤警中教頭の鮮やかな始球式に依つて警中對平商第一回戦は(球審)佐藤信夫(壘審)佐藤武雄、水竹伊之助三氏で警中の先攻に開始され勢頭から息づまる打撃戦の接戦を展開、第一、二回警中三、三、平商五、一で同点、技術全く伯仲して觀衆は思はず熱中勝敗の豫斷何れとも期し難かつたが果然三回表警中一舉八点の大量得点を得るに及んで大勢は決定的なものとなり平商全く致命的打撃を受け、物凄い追撃戦を展開し三回裏三點、四回裏二点を得点したが追撃遂にならず夕暗四圍をこむる

試合経過

五時半左記の如き十九對十三のスコアで平商敗退、惜しくも決勝戦出場のチャンスは逸した

△第一回【警中】大村三ゴロ

一壘セーフ小林0-1の時大村二盗成り小林左頭上抜く三壘打、大村還り柳澤前安打、小林還り高清水三壘、新谷2-1の時高清水二盗成り大淵四球の時バスポールに高清水還り樋口0-2に大淵三盗成る、樋口四球、谷澤遊歩に終つたが一舉三點を先取【平商】若松投前、下山田遊撃頭上を抜く安打、清水1-2の時下山田二盗、清水四球、宮澤2-0の時下山田三進三壘に暴投して先づ還り此の時清水三進、宮澤遊撃エラに清水三進、宮澤二盗成る、菅原四球、玉手四球の時暴投、宮澤還る、玉手三盗成り阿部四球、大淵2-2の時バスポールで菅原還る、武川捕落球に玉手還る、若松投飛したが一舉五点を獲得二点のリードとなる

△二回【警中】豊口四球、大村三ゴロに一壘へ暴投して豊口、大村一三進、小林左頭上を抜く三壘打、高清水投ゴロに一壘落球で生き、新谷二壘頭上の安打で二、三進、大淵四球で満塁となる(この時平商菅原投手引き清水投手となり菅原中、玉手三壘、若松一壘となる)樋口三振、谷澤三振したが三點を獲得して警中軍一點のリードとなる【平商】若松四球、下山田1-0の時若松二盗成る、下山田三壘、若松三進、清水中前の安打に若松還り、宮澤四球、菅原1-0の時三進す、菅原三振、玉手投前、兩軍6-6の同点となる

△三回【警中】豊口中前の安打、大村中頭上を抜くホームランに二者還り、小林三壘頭上の安打、小林牽制球に一、二壘にはさまれて就いて二盗成る、柳澤投前、小林三進、高清水四球、新谷二飛、大淵二壘左を抜く安打二者還り、大淵二盗、樋口四球、谷澤0-1の時大淵

三盗、捕手の暴投に大淵還り、澤谷四球、豊口四球にまたもや満塁となる大村三壘ゴロに一壘落球して三者還り、小林三飛に終つたが八點のリード【平商】阿部遊撃頭上を抜く安打に出、大淵二壘、阿部三進、前松四球、若松二壘エラに二者還り、下山田左飛、清水三壘左を抜く安打に若松還る、宮澤三壘ゴロで一壘へ暴投、清水三進、菅原三振平商三点を返す

△四回【警中】柳澤四球、高清水投前、一壘落球で生き新谷四球で満塁となる大淵四球、おし出しに一点獲得、樋口2-2の時バスポールに高清水還る樋口四球、谷澤三振、豊口一壘、大村中前の安打に大淵還り、大村の代理P.H.下山田遊歩に樋口還る柳澤三飛、こゝに四点をあげ十八對九となる

△五回【警中】(平商投手阿部、宮澤捕手となる)高清水投前、新谷四球、大淵四球樋口の時二、三進樋口三振、谷澤2-0の時捕手落球して新谷還り大淵ホームストゥールを企てたがホームでなく【平商】清水三壘、宮澤遊飛、菅原左前安打、玉

手四球、阿部二壘のエラに満塁となつたが前松三壘に終り此の回兩軍得点なし

△六回【警中】谷澤遊歩、豊口二壘、大村投前、三者凡退、終る【平商】新田四球、若松二壘、新田三進下山田二飛、清水四球、宮澤遊撃左を抜く安打に新田、清水還る、菅原三壘に終つたが結局十九對十三で警中軍勝つ、閉戦五時半

警中		平商	
三壘	1	三壘	0
二壘	2	二壘	0
一壘	2	一壘	0
本塁	1	本塁	0
得点	18	得点	9
安打	10	安打	10
打数	48	打数	41
盗塁	5	盗塁	1
犠打	1	犠打	0
犠飛	1	犠飛	0
四球	5	四球	7
三振	13	三振	10
エラー	0	エラー	0
合計	121	合計	134

興味は懸けて... けふの決勝戦に

警中、警女の顔合せ

本社主催第三回平商中等學校教員野球大會決勝戦は本廿九日午後三時半から警中球場に第一回の勝者警中對平商一勝の警女の對戦で舉行本年度優勝者を決定するが平商、輕く屠つて意氣揚る警中チームは破竹の勢に再制覇を以て勇躍、警女軍又昨年度大會に於て惜しくも二年制覇を逸した雪辱戦として打倒警中の闘志満々で白熱戰を展開すべく期待され榮えある優勝旗は再び警中の手に戻るか、雪辱なつ警女の頭上に輝くか、地方ファンの興味は今やけふの決勝戦に懸けられてある

本縣体育協會主催縣下各郡支部對抗體育大會に出場する事になつた石城支部は過般第一回の覇權を以てし猛練習を續けてゐるが今二十九日當日の出場選手を左の如く決定した

- △陸上競技(百米)内二丹 野富士夫 入山佐藤吉男 小名濱草野仁 江名坂本 惣助(四百米)平一鈴木武雄 四倉佐藤定翁(走幅跳)内二丹野富士男 入八男進さん

村道工事陳情 去る

昭和七年より十年迄匡救工事で工費八千圓を以てて施行した永戸村の村道工事は工事が終了後、村内渡戸永井間約十五町は未改修のため昨廿八日關係村會議員數名が平土木監督所にこれが改修方陳情した

- 一 齒科 一般
- 一 工科 齒列矯正科
- 一 外科 齒槽膿漏科
- 一 レントゲン科

中野齒科醫院

平町田町(松月堂向と)

電話 五〇九番

院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次
日本齒科 醫學士 西川 誠

縣下体育

本郡選手決定

既報十月十一日郡山市安積中學校に開催される

踏倒し逃走の片割 郷里で自殺(未遂)

馴染藝妓を追つて 少年罪の遊興清算

昨朝湯本町裏町旅人宿備中屋方に投宿、廿四日から三日間藝者をあけて大盡遊びの末逃走を圖り行方を晦ました郡山市清水臺一心堂書店龜三二男佐々木俊助(一八)假名は平署で嚴探中のところ秘かに二十六日歸郡、實家附近道路上で劇薬を嚥下苦悶中を發見され、郡山病院に收容手當中、生命は取止める模様である尙同人

費用入らずの

金儲け新戦術

實際湯本の野天風呂で

大膽な一芝居

湯本町字三函石炭行商人古市(一)は費用入らずに金儲けを思ひたれ例の湯本町入山炭礦排水に依る野天風呂附近に頑張り他町村からの入浴者に對してこの風呂はその筋からの遊しに依り今度から金を取ることになつたと巧に欺き數十名から一人五錢づつの入浴料を取り濟まし込んでゐたところを詐欺罪として二十八日平署員に捕へられた、目下判明した被害者は石城郡磐崎村大字藤原安齊利雄さん(三)外十九名で引つゞき平

りますからと十九日清記から平署へ捜査方願ひ出た

山形縣東村山郡青柳村設置太郎妻ミツエ(一)は去る十月

お断り 本日記事欄に付き「オリズムピク」の旅」休載

日夜家出行方を晦ましたが平地方に入つた様子なのでこれも夫から平署へ、同女は斷髪で日蓮宗修業者である

枕で鼻口を壓し 不義の嬰兒殺し

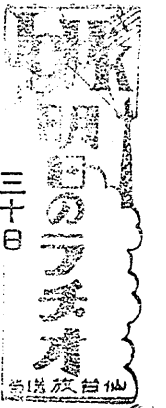
多情の四十女の殺人 醫師の死亡診断で發覺

平區氏家検事は今二十九日午前十一時頃浪江署から嬰兒殺事件勃發との報告に接し急據江尻書記と共に藤沼醫師を從ひ現場に出張した犯人は双葉郡大堀村生れ同郡長塚村大字澁川字道力二二農田義祐内縁の妻伊藤ハル(一)で取調べの結果同人は五年前先夫伊藤新九郎と死別三人の子供を有し乍ら去る九年春頃から浪江町

農漁村産業開發の

鹿島 江名路線改修陳情 歩行さい困難な難道 生産品運搬に支障

河野江名町長志賀鹿島村長外兩町村會議員、各區長はこの程連名で平土木監督所



今晩は南西の風 晴一時曇明日は北西の風晴

「波浪」岡田嘉子 後八、四〇 國淨瑠璃 一牛若東下り伊熱三郎住家の段」鈴木幸龍 後九、〇〇 ラヂオ小説 四三郎(冬)丸山章治他 後九、三〇 時報 ニュー 明日の話題 氣象通報 番組預告

前六、三〇 基礎英語 鹽谷榮 前七、〇一 朝の修養「エビクテタスの處生訓」中山昌樹 前八、〇三 家庭教育講座「子供の心と成人の心」今田恵 後八、〇五 トーキョー音楽「巴里の屋根の下」他東京日本橋三映社試寫室中繼 後九、〇〇 國民歌謡 松島詩子他 後二、〇〇 婦人の時間「九月の婦人界」大林宗嗣 後二、四〇 小學生尋五高二の時間「九月の出来」

事一大阪教育放送研究会 後三、一〇 教師の時間「尋二新算術書取扱の實際」清水甚吉 後六、〇〇 童話劇「十五夜の頃」東京放送童話劇協會 後六、二五 英語講座 岡部次郎 後七、三〇 中秋明月の夕「短歌會」月に寄す「今井邦子他(須磨海岸中繼)」 後八、二〇 ラヂオ聯曲「月」小林千代子他 後九、〇五 マイクロ「シヨ」冷泉流觀月歌會」宇治山田郊外倉田山中繼

豪雨の被害 一萬八千四百圓

平土木監督所管内調

平土木監督所で調査した去る廿六日午後から廿八日午前五時頃迄にかけて襲つた豪雨の被害は

- 道路 田人村地内四ヶ所六千五百圓
- 橋梁 田人村南大平地内土橋二ヶ所二千圓
- 河川 鮫川(錦、植田地内)三ヶ所八千三百圓
- △蛭田川(川部瀬戸地内)六百圓

の一萬八千四百圓である

窃盜犯に懲役

生活難の爲めとはいひ不起訴處分の恩典に浴した事があり乍ら改役もせず罪を重ね過般懲役八ヶ月を求刑

提灯

された平窪村大字ト窪字曲田左官職山崎由太郎(三)に係る窃盜事件の判決言渡し公判は今二十九日午前九時から平區で野木判事係り氏家檢察立會の下に開廷されたが求刑通り懲役八ヶ月を言渡された

平職繁紹介所報告

- 人々を求めの方
- △採炭夫 卅五才迄 給料一圓
- △クリーニング職工 四十才迄 給住込十五圓 通勤二十五圓
- △倉働 四十才迄 月給七圓
- △店員 卅才迄 給五圓
- △豆腐賣子 卅才迄 給歩合
- △漁夫 四十才迄 歩合
- △出前持 二十才前後 給面談
- △蒲葺製造 廿才前後 給面談
- △粕へん夫 卅才迄 給十圓
- △漁業雜夫 十八才迄 給十圓
- △助手 廿五才迄 給小使
- ◇ 職を求めの方
- △料理人 四十三才 高卒
- △出前持 二十八才 高卒
- △助手 十九才 高卒
- △給仕 十五才 高卒



繞る解瓦解の設人々 (以上) 悟道軒圓玉(作) 尾至陽(書)

二二三 續々立ち退擾

本君の趣意書を持つて驚の木から函館の五稜廓に行

つたその趣意がしたためてある

を土蔵に入れ目塗をして父母妻子の手を引いて立ち退

ろいた知事の清水谷侍従、斥候をばなしてさぐらせる

てはそんなことは聞き入れぬ、ソレみなごろしにしろ



ります」 勝「誤解をさぬ様に貴公か

るではねえから鎮まれや

と聲をからしてこの事を

傳へたが鎮めるは九右衛門

姓にもこの事をつげてくれ、も申しおくが戦ひ

て今とはちがひその當時の

たゞ一人、立ち退くものは

多人數、それ故村は混雑す

るばかり何時かこの事が函

西村屋藥局

藥劑師 鈴木堅助

電話 三番 振替(東京六・二九九 仙臺一・二〇一)

諸機械製作販賣

會社 田邊製作所

平白銀町(驛前通) 電話 二九四番

機械切各種齒車製作

開院

平町 磐城共濟病院

電話 六四一番

診療科目

- 内科 院長醫學博士 長谷部喜久
小兒科 醫學士 多田壽雄
外科 東京醫學士 市川繁
耳鼻咽喉科
性病科
産婦人科 醫學士 草刈邦彦
レントゲン科 醫學博士 長谷部喜久
藥局 長 藥劑師 吉本孝平
事務 長 高畑清志

◎診療時間 午前八時ヨリ午後六時マデ
◎往診午後 急患ハ此ノ限リニ非ズ
▽病室完備入院隨意△

秋...味覺の秋

海老料理初めました 何卒御試食下さい

- ゑび 天 井 三十錢
同 フライ 廿五錢
同 天ぶら 廿五錢

平二警憲署裏通り

魚清食堂

電話 六六三三

石炭

平驛前



阿部石炭店

豆炭

電話 三十七番